



## 写真ワンポイント アドバイス

かわいい動物たち、雄大な大自然、カメラにおさめればそれだけで素敵な写真になりそうですが、実際に仕上がって見てみるとなかなか思うようには撮れていないものです。

ここでは、ほんの数点だけアドバイスを載せておきます。参考にして、写真撮影を気軽に楽しみ、その延長で応募してみてください。



### 背景はシンプルに

背景によって主役が引き立つかどうかが決まってきます。どのような内容の写真にしたいのかによって背景の選び方も違ってきますが、基本的にはできるだけシンプルな背景になるよう心がけて撮影すると良いでしょう。撮りたいと思うと背景まで考慮せず撮影してしまうことも多くあります。

撮影するときはちょっとだけ背景に気をくばって撮影するようにしてみてください。



### シャッターチャンスを大切に

風景撮影では光のチャンスを、ポートレートでは笑顔のチャンスを、スナップ写真では変化のあるチャンスを、というように写真撮影にはシャッターチャンスが非常に重要です。また、どのジャンルの写真についても言えることですが、より良いシャッターチャンスを狙うには「待つこと」と「予測すること」がとても大切になります。

どんな変化がこの画面に有効なのか?と考える姿勢を持って撮影に挑戦してみてください。



### 一番撮りたいものを撮ろう

写真を撮る対象は様々。何か撮ろうと一つ決めても、その後ろには素晴らしい風景があったりして、ついつい両方撮ろうと思いがち。ですが、やはり主役が二人いては作品は引き立ちません。

撮るときは「何を撮りたいのか」を大切に、主役を画面いっぱい撮影するようにしたいものです。二兎を追うものは一兎を得ず、とは写真にもいえることなのです!



### ピント合わせのポイント

オートフォーカスカメラが主流になり、ピントを合わせることは簡単になりましたが、どこにピントを合わせるかを決めるのはあくまでも撮影者自身です。ピントは自分が撮りたいと思った部分に合わせて一番良いのですが、一般的には「生き物は目」「花はしべ」にピントを合わせるというセオリーがあります。これはあくまでセオリーであって絶対にこうでないといけないということはありませんが、撮影される際は参考してみてください。



### なにはともあれ 楽しみましょう♪

カメラはあなたの分身ですが、あなたと同じ目をしてるわけではありません。でたらめに撮った写真が実は後で見るとビックリの素敵な写真になることもよくあるんです。

あまり悩まず「いいな♪」と思った自分の感覚を大切に撮影してみてください。使い捨てカメラでも凄く綺麗な写真になります。気楽に撮影を楽しんでみましょう♪